

「関口日記から見た江戸後期の天気」—古文書に記された天気の復元と分析—
Analyzing the "Sekiguchi diary"

*東 瑠奈¹、*奈良 真衣¹

*Runa Higashi¹, *Mai Nara¹

1.池田学園池田高等学校

1.Ikeda Senior High School

江戸時代に記された古日記をもとに、天気の復元と分析を行った。素材にした「関口日記」の記述をデータ化すると史実と一致し、その信憑性は高い。

小氷河期と言われた江戸時代後期の晴天率は年間54.8%~57.0%で現代の53.0%と大きく変わらないが、雨の出現率は17.8%~18.6%で現代の27.2%に比べて低い。雪の出現率も1.2%~1.6%と現代の2.6%に比べて低く、小雨の傾向がある。

キーワード：関口日記

Keywords: Sekiguchi diary

晴天率と雪の出現率

